

4 高等学校における性教育の目標及び指導内容

高等学校

(1) 高等学校における性教育の目標

高校生の時期は、体の発育・発達には個人や男女によって違いがみられるが、高校生の後期にはほぼ成人と変わらなくなり、性機能も成熟して、心理的な発達も著しくなる。自分の生き方や社会とのかかわり方について真剣に考え始めるのもこの時期であり、自分を知り、主体的な判断や行動ができるようになることが重要である。

このような高校生の特性を踏まえ、第 3 章で示された学校教育における性教育の基本目標に則し、高等学校における性教育の目標を次のように設定することができる。

目標

心身の発育・発達や変化など人間の性の成熟について理解を深めるとともに、それらを科学的・総合的に理解し、自他の性に対する認識を深め、人間としてより適切な行動を選択しようとする態度を育てる。

男女の心身の特質と人間としての平等性について認識を深め、男女が互いに人格を尊重する心情や態度を育てる。また、将来を見通して、望ましい人間関係を築いていくため、より適切な意志決定に基づく行動選択の能力や態度を育てる。

社会における自己役割と責任について自覚を促すとともに、将来の生き方について自分の考えを確立する。また、性の文化や社会的な意味を理解するとともに、男女平等、人間尊重の精神を基盤とする性の望ましい価値観を確立し、適切な意志決定や行動選択ができるようにする。

指導内容

(2) 高等学校における性教育の指導内容

高校生になると、体の発育・発達や性的な成熟度はほぼ完成に近づくが、発育の仕方や発達の程度には男女差や個人差によって違いがみられる。したがって、これに伴う不安や悩みを解消できるように支援することが必要である。特に、性衝動については、身体的な面からだけではなく、社会的な性の風潮による影響も考えられるので、自分の成長の過程を理解するとともに、これらの状況を適切に見極める判断力が必要になる。

ア 体の発育・発達に伴う性教育の指導内容

体の発達・発育について科学的に理解させるとともに、個人差があることを十分に認識させる必要がある。

避妊の指導においては、性交を助長することのないよう配慮する。

イ 心理的な発達に伴う性教育の指導内容

自分や異性の成長の過程をよく知り、男女の生理的、心理的な違いを理解するとともに、各自が好ましい男性像、女性像をもてるように指導する必要がある。あわせて、一人の人間としての在り方、生き方を重視した指導も必要である。

ウ 男女の人間関係から見た性教育の指導内容

男女の人間関係の在り方を考えるには、男女の相互理解が大切である。男女の生理的、心理的な違いについて正しく理解させ、男女は互いの人格を尊重し合わなければならないことを認識させる必要がある。自分にとって男性であること、あるいは女性であることをどう受け止めるかが、その後の生き方や行動形式を左右していくことから、互いに異性の人格を尊重し、思いやりのある態度がもてるように指導する必要がある。

また、男女の好ましい人間関係を築く上で、人間尊重や男女平等の精神に基づき固定的な性役割や性観念にとらわれないことも大切である。特に、この時期は、異性に対する関心が高まり、恋愛感情が芽生え、単なる仲間というだけではなく、特定の異性と親しくなりたいという欲求が高まることがある。このため、男女の人間関係には多くの過程があり、その過程が大切であることを理解させる必要がある。

男女が互いの立場や考えを尊重し合い、自分の意志を相手にはっきりと伝えられる自律した男女の人間関係を育てるとともに、性行動に対する賢明な意志決定や行動選択の能力や態度を身に付けさせることが重要である。

エ 社会的な面から見た性教育の指導内容

近い将来、社会を担う一員として、結婚や次の世代を育てる場である家庭について、固定的な性役割観にとらわれることなく、パートナーの個性を理解し、人格を尊重する関係を築くことが大切であることを理解させ、自分なりの結婚観や家庭観がもてるようにさせることが重要である。

性と人権に関しては、人間尊重、男女平等の精神が性にとどまらず、社会生活を送る上での基礎・基本であるという認識を徹底させる必要がある。

また、セクシャルハラスメントなど、自分に意識がなくても相手が不快に感じれば、性の差別や偏見になる場合があることも理解させておく必要がある。

さらに、エイズに関しては、誤った知識や情報によって、エイズに感染した人に対する不当な偏見・差別が起きている現状を認識させる必要がある。エイズの歴史的な背景や現状について認識させるとともに、感染経路や予防について正しく理解させることが大切である。

現代は、性に関する観念やモラル、価値観が変化し、多様化している状況にあるが、性情報を適切に見極め、性に関する様々な社会事象に主体的に判断ができる能力や態度を身に付けさせる指導が必要である。

